

発表者：山本 博史 ガバナーエレクト	(15時40分)
【記録内容】 2018-19 地区予算案承認決議 ・2018-19 地区予算案について、出席者に意見・質問が求められた。 ・意見、質問共に無し。 ・よって2018-19 予算案について承認決議が行われ、2018-19 予算案は拍手により承認された。	
発表者：飯井 克己 次年度地区財務委員長	(15時42分)
【記録内容】 送金手続き・送金先 ・主要送金の内容について下記資料により説明が為された。 （資料）2018-19 年度のための地区研修・協議会基本冊子 -----31P ・出席者から下記2件の質問があったが、発表者からいずれも適切に処理されている旨の説明がされ、質問者に了解された。 （質問）基本冊子-----31P 2 規定審議会のための追加人等分担金について （質問）基本冊子-----31P 5.地区運営資金・地区活動資金・地区大会の内容について	
発表者：山本 博史 ガバナーエレクト	(15時45分)
【記録内容】 2018-19 RI および地区方針 ・冒頭、2018-19 バリー・ラシン国際ロータリー会長の「クラブはRIの事をもっと知るべきである、RIはクラブの声に耳を傾けるべきである」という言葉を引用し、RIとクラブの距離について問題提起がなされた。 ・クラブがRIの事を知る為には 1. ロータリーの友を読むこと 2. ガバナー月信を読むこと 3. My ROTARYに登録すること ・クラブの声を届ける為には 1. My ROTARYの登録、活用を積極的に推進することである ロータリー会員、全職員、学友、ローターアクターを対象とし3年に1度実施されるRIのアンケートについて、2014年メール形式の実施事例について説明がなされた。 このアンケートでは、各回答者の80%~97%がRIの戦略計画がふさわしいと答えた。 2017年のアンケートはメールではなく、My ROTARYを使用すると思われる。 各クラブでMy ROTARYに登録し、このアンケートを受け取り回答しなければならない、我々クラブの声をRIに届けなければならない。 2. 決議案の提出をすることである 日本の会員数、ロータリー賞受賞歴等に鑑み、世界において日本のクラブの意見は説得力のあるものであると確信する。そこで我々の意見を決議案とし積極的に提出していくべきである。日本の意見こそ影響力のある決議案となるであろう。	

- ・以上のように「やるべき事をやり、言うべき事を言う地区でありたい」、と述べられた。
- ・ロータリーの変化という事に対して
今後ロータリーは変化すべきである。変化すべきであるが、各クラブに所属するベテラン会員の意見をしっかりと聞き、ロータリーが培った既存のルールを踏まえ、丁寧に議論を進めて頂きたい。例えば矜持を持って出席する例会、多忙な経営・他団体等の活動の中で出席メーキャップに臨む姿勢、これらロータリーの基本と本質を大切にしながら、多様な意見を模索して頂きたい、と述べられた。
- ・変化、変革する上で結果を意識する
その変化が結果を出すことが出来るのか、その変革が今後のクラブの柱たる目標目的に合致するか、これらの点を十分意識し、各クラブで変化変革について検討議論を進めて頂きたい、と述べられた。

発表者：2017-19 審議会代表議員 立野 純三 パストガバナー

(15時55分)

【記録内容】

2017-19 決議案と規定新議案

- ・添付資料①②に基づいて以下の説明がなされた。
規定審議会とは
決議案と制定案の違い
何故、決議案・制定案を出すのか
2017年決議会で何が採択されたのか
2018年決議案新議案スケジュール
- ・制定案は、定款細則に精通していなければならないが、決議案はクラブのご意見箱である。皆さんのクラブ活動にそぐわない制定案が採択されれば影響がでる、その前に意見を言う事ができる唯一の抗議提案が決議案である。よって、国際ロータリー審議会に決議案を提出する意義を理解し是非提出して頂きたい、と述べられた。
- ・具体的に決議案を理解する例として、資料①世界中のロータリークラブが取り組むべき地域社会の問題に対して、地域に密着した指針を示すよう国際ロータリー理事会に要請する件、を音読し、意見を求めた。(出席者からの意見、2件、当該例を是とする意見が得られた)
- ・樋口 信治 2018-19 地区広報・情報・公共イメージ向上委員会委員長から、2018年決議提出のスケジュールについて説明が為された。

発表者：/次年度地区広報・情報・公共イメージ向上委員会 樋口 信治 委員長

(16時15分)

【記録内容】

ロータリー情報と公共イメージ向上

- ・My ROTARY、クラブセントラル、クラブショーケースの活用について、理解し活用促進して頂きたい旨、説明、依頼がなされた。
また、My ROTARY、クラブセントラル、クラブショーケース活用により、各クラブに眠る事業データ等の記録保存、データベース化におけるメリットについて事例を上げ説明がなされた。
- ・My ROTARY活用実践の為に、栗原 大 次年度地区幹事より、My ROTARYのログイン、クラブセントラル、ロータリーショーケースの入力閲覧手順について、WEB画面資料に

<p>沿って説明がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 添付資料③により、第 2660 地区の My ROTARY 未登録者数について報告がなされた。My ROTARY の実際の登録については、各事務局員により担って頂くことが現実的であるとし、重ねて未登録クラブへ登録の依頼がなされた。 <p>さらに資料④により My ROTARY、クラブセントラル、クラブショーケースの IM 別クラブ説明会の実施、日程について説明がなされた。</p>
<p>発表者：次年度地区危機管理委員会 近藤 眞道 副委員長 (16時34分)</p>
<p>【記録内容】</p> <p>危機管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際ロータリーでは、青少年部門の取り組みを推進している。よって青少年保護と危機管理の必要性・重要性が増しているとし、下記資料により過去の事例と経緯を踏まえ説明がなされた。 <ul style="list-style-type: none"> (資料) D2660 ロータリーの危機管理 青少年保護とセクハラ その 1 COP2.120 に基づく具体的方策指針である以下の項目について、必要性和事例が説明された。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年プログラムの法人化の必要性 2. 賠償責任保険加入 3. 青少年を性的虐待・セクハラから護るための地区方針の作成 2.120.3 性的虐待及びハラスメントの防止に定められた内容について説明がなされた。 青少年の問題に関しては、各クラブにおいて発生を防止すると共に、青少年部門の活動に関係する全員について誓約書を取る件、起こりうる訴訟に関して備えを十分する旨述べられた。また、各クラブの要請により、当該内容について危機管理委員会によるクラブ個別説明会の実施も可能であることが案内された。
<p>発表者：宮里 唯子 次年度地区代表幹事 (16時53分)</p>
<p>【議事内容】</p> <p>クラブ幹事の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> 各幹事へのお知らせ、依頼事項 <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際ロータリーから出される幹事テキストは、今後 My ROTARY からダウンロードしなければならない件 2. ガバナー公式訪問日程確認の件 <ul style="list-style-type: none"> (資料) 2018-19 年度のための地区研修・協議会基本冊子 -----24P・25P 確認 3. ガバナー補佐訪問の件、クラブ協議会開催依頼の件、クラブの情報提供依頼の件 4. 活動計画書を 7 月 1 日までに提出の件、同計画書のクラブセントラルからの入力依頼の件
<p>閉 会 (17時00分)</p>